

1 YEAPMA-Z1C1

5 / 10

(1)

① トル  $\triangle -1$       ② 和解, 祝い, 感謝  $\triangle -3$   
友達同士が 同様に, 歓迎や同情などの感情の表現  
③ として  $\triangle -1$   
のように愛撫すること。

- ① ここは下線部にあるfriendsだけに着目すればよいが、この表現を入れるならば「恋人同士と」などを加えて、「何と」同様なのかを明示しよう。
- ② ダッシュ以下の感情の具体例が「A, B, C…」などと並列されているので、1つ残らず訳出しよう。
- ③ このasは「~として」とすると直後の「愛撫」に自然につながる。

6 / 6

(2) ( C )

0 / 5

(3) ( stolen eaten  $\triangle -5$  )

☆「解説」のProcessの [1] を確認しよう。

空所を含む文の前文で、「文法的な観点」と「意味の面」が対比されており、重要なのは後者だと述べている。

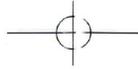
空所を含む文は「大して問題にならないミス」なので、文法的な観点での具体例になっている。

eatの過去分詞がeatenになっているが、正しいのはeaten。

(※解答欄は裏面に続きます。)

②谷折り

①山折り



10/16

(4) ① まったく  $\triangle -1$  ② 常習的  $\triangle -1$  ③ たった1回  $\triangle -1$   
 しかし、ひょとするとわざとではないかもしれない、ただ1つの  
 ケーキを盗むという行為のもとで、私達が「ジミーはいつも  
 ④ に腹を立てて  $\triangle -2$   
 悪い少年で泥棒なんだ!」と言ったら、私達は深刻な  
 言葉の誤りとしており、ジミーもあざく傷つける。⑤ かもしれない  $\triangle -1$

- ① at allは否定語とともに用いて「まったく(～ない)」の意。
- ② ここにtypicalは「よくある」「意図的な」という意味はない。
- ③ singleは「たった1つの」の意ではあるが、「1つだけのケーキ」という誤解を与える。ここは「行為」に対して言っているなので、「たった1回の」としたい。
- ④ under the provocation of ～は「～に立腹して」。他動詞provoke(～を怒らせる)から意味を推測しよう。  
 cf. commit a crime under provocation (腹立ちまぎれに犯罪を犯す)
- ⑤ mayの‘推量’の意が出ていない。

13/13

(5) 「ジミーはピーターのケーキを盗んだ」と言うのに、たとえこの言葉が  
 嘘だとしても、それ以上の発声器官を使う技術や知力は  
 必要ない。

☆☆require～「～を必要とする」

Ex. The president's approval is required for this.

(これには社長の許可がいる。)

‘require + 人 + to...’は「人に...するように要求する」の意。

Ex. The police required him to fill out three forms.

(警察は彼に3枚の書類に記入するよう要求した。)

〈合格への一手〉

全体的な話の流れは押さえられています。

下線部和訳や空所補充では、前後の文脈をより意識して展開を把握する必要がありますね。和訳では細かい語訳や訳抜けの積み重ねが大量失点につながるので、(1)と(3)は解説をよく見直して英文を精読しましょう。

